



グローバル建設株式会社

2022 年度 環境経営レポート

(対象期間 2022 年10月1日～2023 年9月30日)



発行日：2024年11月1日

目 次

項 目	ページ
経営理念	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12



経営理念

誠意をもってお客様と接することにより喜びを共有し

心豊かな地域づくりに貢献します

環境経営方針

<環境経営理念>

建設業は自然環境と深い関わりのなかで企業活動がなされ、事業を運営するうえで資源エネルギーを消費し、また産業廃棄物の発生量、建設副産物の削減とリサイクルの維持が社会的使命となっている。このため次の方針を定め自主的改善を設定し、継続的に実行する。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する。
- 2 . 工事を計画する上で環境配慮型の工事を施工する。
- 3 . 環境汚染の防止、廃棄物の安全な処理、処分を考慮した建設工事を行う。
- 4 . 3R運動を推進する。(Reduce/発生抑制・Reuse/再利用・Recycle/再資源化)
- 5 . 二酸化炭素排出量を削減する。(電力、化石燃料の使用削減)
- 6 . 使用水量・廃棄物排出量を削減する。
- 7 . 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加する。

上記の方針を全社員に周知徹底し、環境保全の意識向上に努める。



制定日：2011年10月1日

改定日：2022年9月19日

グローバル建設株式会社

代表取締役 戸田俊治

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
グローバル建設株式会社
代表取締役 戸田俊治
- (2) 所在地
本 社 兵庫県朝来市生野町口銀谷2287番地
資材倉庫 兵庫県朝来市生野町竹原野字ケンスイ401番地
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 常務取締役 戸田卓哉
担当者 総務部 柳井 浩
TEL : 079-670-5255
メール : hiroshi_y@globalconstructor.co.jp
- (4) 事業内容
総合建設業（土木、建築、とび・土工、鋼構造物、舗装、水道施設）
産業廃棄物収集運搬業
- (5) 事業の規模
売上高 788 百万円 (2022年度)
- | | 本 社 | 資材倉庫 | 合 計 |
|----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 従業員 名 | 45 名 | 0 名 | 45 名 |
| 延べ床面積 m ² | 1625 m ² | 1454 m ² | 3079 m ² |
- (6) 事業年度 2022年 10 月 1 日 ~ 9 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : グローバル建設株式会社
対象事業所 : 本 社
資材倉庫

対象外 : なし
活動 : 総合建設業（土木、建築、とび・土工、鋼構造物、舗装、水道施設）

□自社の所有する舗装工事専用重機



アスファルト
フィニッシャー

アスファルト合材をマット状に敷き均すのに使用する。仕上品質に大きく影響する。



タイヤローラー

前後複数本のゴムタイヤを付けたローラー。路盤やアスファルト舗装面に散水しながらなじませる二次転圧・仕上げ転圧に使用する。



マカダムローラー

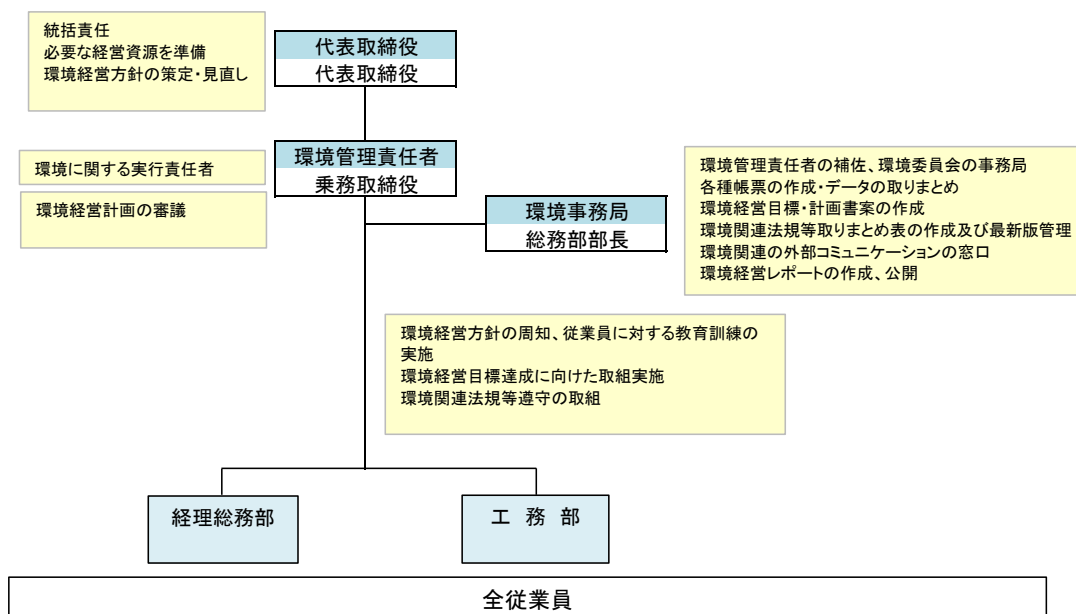
路盤やアスファルト基層、表層の締固め作業に使用する鉄の三輪式ロードローラー。前輪が一輪、後輪が二輪に分かれており、敷き均し後の初期転圧に使用する。



モーターグレー
ダー

路床の整形や路盤材の敷き均しに使用する

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚



□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	107,171	108,435	179,790
電力	kWh	28,569	28,569	31,789
ガソリン	L	18,070	18,070	23,462
軽油	L	18,558	18,558	41,503
灯油	L	1,095	1,095	1,379
液化石油ガス(LPG)	kg	1,700	1,700	1,410
廃棄物排出量	t	549.4	552.3	475.3
一般廃棄物排出量	t	0.30	0.30	0.30
産業廃棄物排出量	t	549	552	475
総排水量	m ³	160	213	196

※二酸化炭素排出係数 0.334 kg-CO₂/kWh 2018年関西電力公表数値を使用
 ※負荷の実績は工事現場を含む ※化学物質については使用していない

□環境経営目標及びその実績

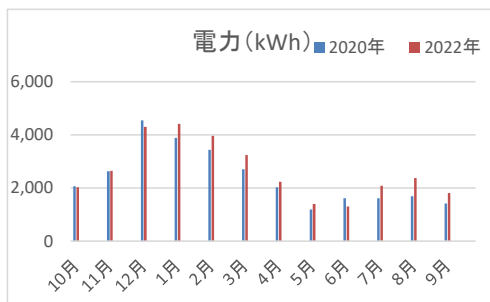
年 度 項 目		2020年		2022年		評価	2023年	2024年
		(基準値)	(目標)	(実績)	(目標)		(目標)	
電力による二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	9,542	9,447	10,618	×	9,351	9,256	
	基準年度比		99%	111%		98%	97%	
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	89,802	88,904	161,509	×	88,006	87,108	
	基準年度比		99%	180%		98%	97%	
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO2	2,727	2,699	3,434	×	2,672	2,645	
	基準年度比		99%	126%		98%	97%	
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	102,071	101,050	175,560	×	100,029	99,009	
一般廃棄物の削減	kg	300.00	294.00	287.00	○	294.00	291.00	
	基準年度比		98%	96%		98%	97%	
産業廃棄物の削減	t	549	544	475	○	538	533	
	基準年度比		99%	86%		98%	97%	
建設副産物の再資源化率の向上	%	98.71%	100.00%	100.00%	○	100.00%	100.00%	
水使用量の削減	m³	160	158	196	×	157	155	
	基準年度比		99%	123%		98%	97%	
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)							

口環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素排出量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	空調の温度調整、照明の適正使用等の活動により節電の意識は定着してきている。一方で新型コロナウイルス感染拡大防止策に係る空調使用時の定期換気等並行して実施した。今後もコロナ禍という状況のもと現状に合致した取り組みを継続していく。また、従業員の意識が定着する一方、本社社屋及び照明器具・エアコン等設備の老朽化は否めない状況であり、それらの更新も計画している。こうした取り組みとは別に受注工事の内容により使用燃料及び二酸化炭素排出量に大きく影響を及ぼすことから、車両・重機等の更新時に環境配慮型の機種を採用する等、ソフト・ハードの両面から取り組み効果的な運用を図る。受注環境の変化は激しいながら、環境関連法令を遵守し、取り巻く情勢の変化に適切に対応し目標達成に努める。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房24℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・昼休み、始業時間前の消灯の徹底	○	
・クールビズ・ウォームビズの励行	○	

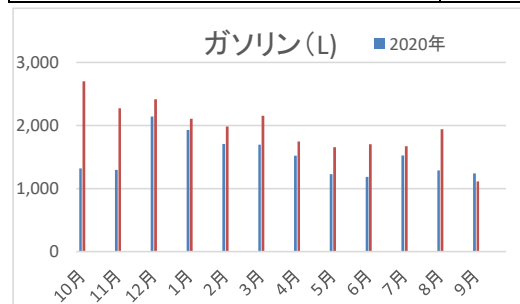


取組紹介欄

- ・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20度)
- ・不要照明の消灯
- ・働き方見直しによる残業時間の短縮
- ・作業・業務の見直しによる効率化

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
2020年	2,061	2,632	4,549	3,887	3,441	2,708	2,027	1,190	1,616	1,616	1,692	1,416	28,835
2022年	2,029	2,648	4,302	4,415	3,960	3,238	2,232	1,395	1,305	2,080	2,371	1,814	31,789

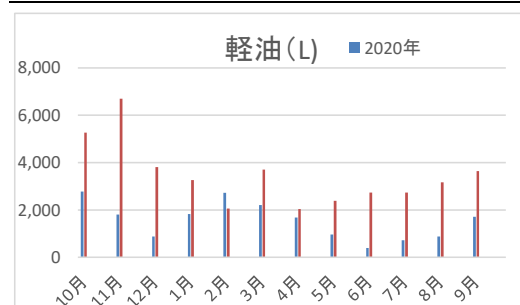
自動車燃料による二酸化炭素排出量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	ガソリン、軽油共に一年を通して使用量が大幅増となり未達となった。
・燃料カードを活用し自車の燃費把握	○	引き続きエコドライブの励行、ハイブリッド車の積極導入等、ソフト・ハード両面から取り組み目標達成を目指す。
・「エコドライブ10のすすめ」の実践	○	
・定期点検の実施	○	



取組紹介欄

- ・燃料カードを活用し自車の燃費把握
- ・不要なアイドリングストップ
- ・ふんわりアクセル「eスタート」の励行

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
2020年	1,319	1,294	2,141	1,928	1,707	1,697	1,521	1,228	1,186	1,523	1,288	1,238	18,070
2022年	2,700	2,271	2,416	2,105	1,983	2,156	1,745	1,656	1,702	1,673	1,941	1,113	23,462

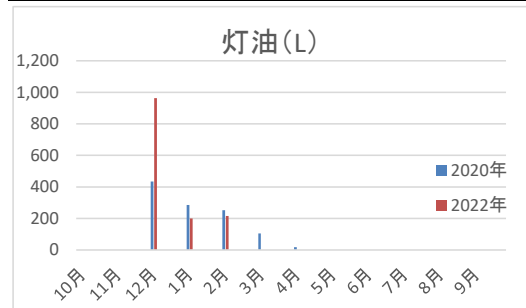


取組紹介欄

- ・不要なアイドリングストップ
- ・急加速の抑制
- ・車両管理責任者の選任により適正な整備

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
2020年	2,779	1,806	872	1,825	2,727	2,211	1,682	961	392	715	879	1,709	18,558
2022年	5,270	6,704	3,815	3,257	2,058	3,702	2,038	2,381	2,735	2,729	3,172	3,642	41,503

灯油による二酸化炭素排出量削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	今期は気温が比較的低かったため冬期の暖房使用頻度が高く、使用量が嵩んだ。また、除雪及び凍結防止剤散布の出動機会が多く、それに伴い夜間待機を実施しており更に使用量が嵩む結果となった。 今後は短時間の不在時にも電源を切る等、消費削減を周知徹底し目標値達成に努める。
・ウォーム・ビズの励行	○	
・商談スペースは来客予定時間20分前に暖房器具オン	○	

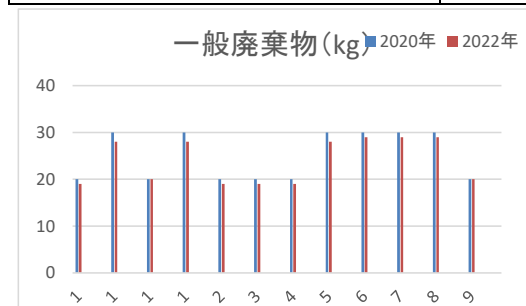


取組紹介欄

- ・ウォーム・ビズの励行
- ・商談スペースは来客予定時間20分前に暖房器具オン

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
2020年	0	0	434	285	253	105	18	0	0	0	0	0	1,095
2022年	0	0	963	200	216	0	0	0	0	0	0	0	1,379

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	コピー用紙の両面使用の励行 ・分別によるリサイクルの推進 ・プリンター出力時の印刷設定確認 コピー用紙の両面使用の励行 ・分別によるリサイクルの推進 ・プリンター出力時の印刷設定確認
・コピー用紙の両面使用の励行	○	
・分別によるリサイクルの推進	○	
・プリンター出力時の印刷設定確認	○	

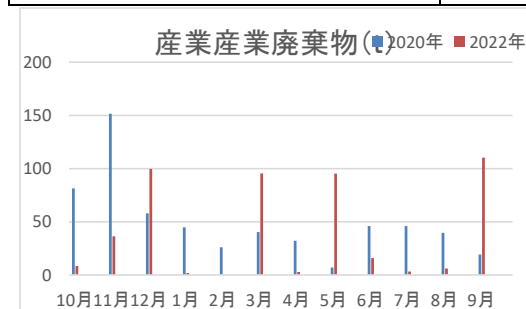


取組紹介欄

- ・分別によるリサイクルの推進

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
2020年	20	30	20	30	20	20	20	30	30	30	30	20	300
2022年	19	28	20	28	19	19	19	28	29	29	29	20	287

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標値対比87.3%(69t減)となり、受注工事の件数及び工事内容に起因する結果ではあるが目標値達成。引き続き排出抑制、適正処理に努める。
・分別の徹底によりリサイクル化に努める	○	



取組紹介欄

- ・排出抑制及び適正処理に努める。

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
2020年	81	152	58	45	26	40	32	7	46	46	40	19	592
2022年	8	36	100	2	0	95	3	95	16	3	6	110	475

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出
騒音規制法	特定建設作業の届出、地域別騒音基準の順守
振動規制法	特定建設作業の届出、地域別振動基準の順守
道路交通法	道路使用許可、安全運転管理者等
消防法（危険物）	消火設備の定期点検、危険物の保管
建設業法	許可の申請、変更届出書
建設リサイクル法	分別解体等の計画書の届出
フロン排出抑制法	引取証明、回収履歴の記録・保存

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023年8月10日	■実施場所
■参加者： 全45名出席	■実施内容： （通報訓練） 消火訓練、避難訓練
■評価： 問題なく手順の再確認を行った	手順書の変更の必要性 ☒ あり ☐ なし
■実施状況の様子	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年11月1日

建設業界は受注環境の変動が激しく、元請け・下請けの別、受注工事の内容等により使用燃料及び二酸化炭素排出量が大きく変動するため、その数値だけで環境への配慮がなされたか否かを判断することが困難な側面を有しています。
また当該活動は売上伸長等業績が堅調になるとそれに比例し使用燃料及び二酸化炭素排出量も増加する性質を持ち合わせています。
故に工事内容に関わらず今後も引き続き日々の活動を推進するとともに、車両・建設機械等の更新時に環境配慮型機種の積極導入を継続します。今期も計画していた車両の更新サイクルの短縮、ハイブリッド車の積極導入、建設機械（省エネ仕様・安全装置付）の導入等実施して参りました。結果としてはこれら取り組みに反し、業績が好調で電力・自動車燃料・灯油等の使用量が嵩んだことが影響し目標値未達成とはなりましたが日々の事業活動の中でも一定の効果は見受けられます。
こうした活動を通じ従業員の意識が定着する一方、本社工屋及び設備の老朽化は否めない状況であり、これらの更新も段階的に計画しています。
従業員の皆さんに於かれましてはコロナ禍での活動が余儀なくされますが、引き続き環境関連法令の順守と計画の確実な実施により排出抑制に努め、職場はもとより地域の環境改善につなげるべく努めてください。

グローバル建設株式会社
代表取締役 戸田 俊 治

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

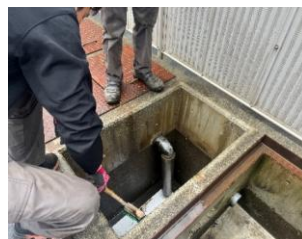
□これまでの環境活動の紹介



消防設備の点検



重機の使用前点検・整備



グリストラップ清掃



消火器の使用期限等確認



防災訓練



節水啓発